



# IGM Seminar

金沢大学がん進展制御研究所  
がん幹細胞研究プログラム  
腫瘍分子生物学研究分野

教授 **高橋 智聡** 先生



## がん幹細胞モデルにおけるRBがん抑制遺伝子の新規機能

クローニングから25年を経たRBがん抑制遺伝子は、細胞周期制御能以外にも様々な機能を有するアダプター分子です。多くのがん腫の悪性進展時に不活性化するこの遺伝子産物の機能を完全に理解することは、がん制御を目指すために必須であると考えます。私たちは、RBがん抑制遺伝子の未同定の機能を探索するために、種々の複合変異マウスや培養細胞系を作製・解析してきました。今回は、RBがん抑制遺伝子のエピジェネティック機能およびメタボリック機能に焦点を当ててお話しをさせていただきます。

参考文献 Takahashi C. et al., Nat. Genet. 38: 118-123, 2006.  
Shamma A. et al., Cancer Cell 15: 255-269, 2009.  
Takahashi C. et al., Cancer Sci. 103: 1182-1188, 2012. (総説)

平成24年10月15日(月)17:00より  
遺制研5階セミナー室にて

Host ; 藤田 恭之  
(分子腫瘍分野 内線5530)